

タイヤとタイヤハウスに 挟まれ、死亡

点検・整備時は

エンジン・電源を切ってから行いましょう

点検・整備は、

安全ブロック、安全支柱、輪止めなどを使用して行いましょう

タイヤとタイヤハウスに挟まれる

運送会社で

大型トラックの点検作業をしていた

整備士の男性が死亡

2024/3/20(水) 23:32

20日午後3時10分ごろ、広島県の運送会社の専用駐車場で、大型トラックを整備していた男性従業員がタイヤとタイヤハウスの間に挟まれました。

男性は救助され病院に運ばれましたが、約1時間40分後に死亡が確認されました。

この男性は、整備士として働いていて、大型トラックの前輪を点検しているところだったということです。

作業は専用のピットで行われていて警察が詳しい原因を調べています。